

大藤小学校

全校でのジャガイモ・さつまいも栽培

たてわり活動の一環として、毎年行っている栽培。今年は、休校期間中に職員がじゃがいもとさつまいもの植え付けをしました。学校再開後は、5、6年生を中心に、全校で水やりや草とりを行い、みんなで育てました。

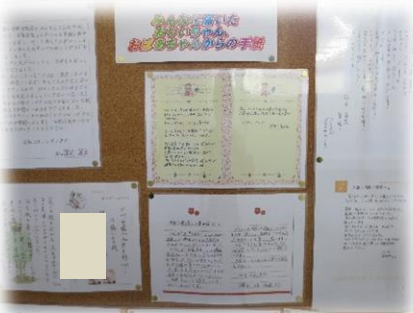


すくすくと地面の下で育ったじゃがいも。7月に縦割り班ごとに収穫しました。ごろごろと出てくるじゃがいもに大喜びの子どもたちでした。



お年寄りとのふれあい集会 ～心ぽかぽかプレゼント～

コロナ禍の中、お年寄りとのふれあい集会が中止となりました。そこで例年は集会で食べてもらっていた、育てたじゃがいもとさつまいもを、児童のおじいさん・おばあさん、地域のお年寄りの方々にプレゼントすることにしました。全校で協力して作った手作りのカードを添えて、袋いっぱいのおいもを、手分けして地域に配りました。大変喜んでもらうことができ、その後、学校に宛てて何通もお礼状をいただきました。それを読んで、子どもたちもとても喜び、お年寄りの方と交流を深めることができました。



サツマイモの収穫は、10月。学年ごとに掘る時間をずらして、密を避けながらの収穫になりました。次々出てくるいもは、まるで宝物。みんなで一生懸命探しました。



地域の方のご厚意で、サツマイモの収穫を体験させてもらった1・2年生。大きなサツマイモを引っ張りながら、「うんとこしょ、どっこいしょ!」「まだ抜けない!」と『大きなかぶ』のお話を唱えていました。

生活科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間

2年生は生活の授業でキュウリやナス、トマトなどの夏野菜を育てました。成長を観察しながら様々なことを発見し、クイズにして友達に発表するなどしました。水やりや草とりをがんばって育てた野菜は、6月～9月にかけて、何度か収穫することができました。大事に持ち帰り、おうちの方と一緒に味わいました。



5年生は総合的な学習の時間に、バケツ稲を栽培しました。収穫し、干して、精米まで行いました。最後に残ったお米はとても少なく、子どもたちも驚きました。かつての農家の苦勞が偲ばれました。



6年生は、収穫したジャガイモを使って、調理実習を行いました。1人で1台、調理台を丸々使って、広々と調理。試食も密を避けながら一人ずつ。少人数であることを大いに活用してソーシャルディスタンスをとりました。とってもおいしいジャーマンポテトができました。

